



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 30 日

上場会社名 **塩野義製薬株式会社**

コード番号 4507

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩野 元三

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 岸田 哲行

上場取引所 東証一部・大証一部

URL <http://www.shionogi.co.jp>

TEL (06)6202-2161

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	50,215	8.7	7,995	53.4	8,549	66.2	5,374	76.2
19年3月期第1四半期	46,193	△ 4.7	5,212	△ 24.6	5,145	△ 28.1	3,049	△ 45.4
19年3月期	199,759	1.7	28,863	△ 1.2	28,113	△ 5.2	18,594	△ 18.2

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	15.79	—
19年3月期第1四半期	8.96	—
19年3月期	54.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	428,997	348,604	81.2	1,023.19
19年3月期第1四半期	422,264	335,872	79.5	985.48
19年3月期	429,569	345,752	80.4	1,014.73

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	336	△ 1,983	△ 2,960	70,043
19年3月期第1四半期	△ 1,890	△ 3,761	△ 3,680	66,763
19年3月期	14,115	△ 8,418	△ 7,180	74,546

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	105,000	13.9	17,500	59.3	17,500	59.4	10,000	56.4	29	37
通期	215,000	7.6	40,000	38.6	40,000	42.3	24,000	29.1	70	49

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※上記予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における業績は、売上高502億1千5百万円、営業利益79億9千5百万円、経常利益85億4千9百万円、四半期純利益53億7千4百万円となりました。

売上高につきましては、昨年9月に通常販売に移行した高コレステロール血症治療薬「 Crestol 」が、国内でのマーケットシェアを着実に拡大し、売上を伸ばしましたが、既存品につきましては、「フロモックス」「フルマリン」「塩酸バンコマイシン」などの売上高が減少し、医療用医薬品全体の売上高は前年同期に比べ横ばいとなりました。一方、工業所有権等使用料収入は大幅に増加し、この結果、全体の売上高としては前年同期比8.7%の増収となりました。

利益面におきましても、工業所有権等使用料収入の増加により、原価率が前年同期の33.5%から1.4ポイント改善した32.1%になり、売上総利益は、前年同期比11.1%の増加となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費が前年同期に比べて7.2%増加したことや販売促進費・広告宣伝費などの増加により、合計で前年同期比2.4%増加の261億1千4百万円となりましたが、売上総利益の増加によりこれを吸収し、営業利益は、前年同期比53.4%の増益となりました。経常利益は、受取利息・配当金の増加や為替の影響により営業外収支が改善し、前年同期比66.2%の増益となっております。四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益などがあったことにより、前年同期比76.2%の増益となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における財政状態としましては、総資産4,289億9千7百万円、純資産3,486億4百万円となりました。

総資産は、前連結会計年度末と比べて5億7千2百万円減少しておりますが、これは主として法人税等の支払や配当金の支払などにより現預金が減少する一方で、有形固定資産、投資その他の資産などが増加したことによるものであります。負債合計では34億2千5百万円減少しておりますが、これは主として未払法人税等の減少によるものであります。純資産は前連結会計年度末と比べて28億5千2百万円増加しております。これは、利益剰余金の増加とその他有価証券評価差額金の増加などによるものであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益が88億円となりましたが、法人税等の支払などがあり、全体としては3億3千6百万円のプラスとなりました。「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、設備投資や投資有価証券への支出などにより、19億8千3百万円のマイナスとなり、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払などにより、29億6千万円のマイナスとなりました。この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は700億4千3百万円となり、前連結会計年度末より45億2百万円減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成19年5月14日発表の業績予想を変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当する事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
たな卸資産の評価等で一部簡便な方法を採用しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当する事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期		前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期		増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	50,215	100.0	46,193	100.0	4,022	8.7	199,759	100.0
II 売 上 原 価	16,105	32.1	15,489	33.5	616	4.0	67,542	33.8
売上総利益	34,109	67.9	30,703	66.5	3,406	11.1	132,216	66.2
III 販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	26,114 (9,741)	52.0 (19.4)	25,491 (9,088)	55.2 (19.7)	623 (653)	2.4 (7.2)	103,353 (37,455)	51.7 (18.8)
営業利益	7,995	15.9	5,212	11.3	2,783	53.4	28,863	14.5
IV 営業外収益	1,223	2.4	856	1.8	367	42.9	3,368	1.7
V 営業外費用	669	1.3	924	2.0	△ 255	△27.5	4,118	2.1
経常利益	8,549	17.0	5,145	11.1	3,404	66.2	28,113	14.1
VI 特別利益	276	0.6	—	—	276	—	3,610	1.8
VII 特別損失	25	0.1	—	—	25	—	—	—
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	8,800	17.5	5,145	11.1	3,655	71.0	31,723	15.9
法人税、住民税及び事業税	1,957	3.9	772	1.7	1,185	153.4	8,702	4.4
法人税等調整額	1,474	2.9	1,319	2.8	155	11.7	4,387	2.2
少数株主利益(△) 又は少数株主損失	5	0.0	△ 3	△ 0.0	8	—	△ 39	△ 0.0
四半期(当期) 純利益	5,374	10.7	3,049	6.6	2,325	76.2	18,594	9.3

(2) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第1四半期末		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)		増 減		前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第1四半期末	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
現金及び預金	82,411		86,853		△ 4,442		81,287	
受取手形及び売掛金	67,054		67,575		△ 521		67,256	
たな卸資産	32,981		32,395		586		29,392	
その他	24,134		22,079		2,055		22,915	
貸倒引当金	△ 12		△ 12		0		△ 13	
流動資産合計	206,568	48.2	208,890	48.6	△ 2,322	△ 1.1	200,838	47.6
II 固定資産								
有形固定資産								
建物及び構築物	30,976		31,142		△ 166		30,817	
その他	37,590		36,672		918		34,922	
有形固定資産合計	68,567	16.0	67,815	15.8	752	1.1	65,739	15.6
無形固定資産	6,182	1.4	6,135	1.4	47	0.8	6,851	1.6
投資その他の資産								
投資有価証券	124,034		123,368		666		128,726	
前払年金費用	20,965		20,168		797		16,572	
その他	2,846		3,360		△ 514		3,697	
貸倒引当金	△ 168		△ 168		0		△ 162	
投資その他の資産合計	147,678	34.4	146,728	34.2	950	0.6	148,834	35.2
固定資産合計	222,428	51.8	220,679	51.4	1,749	0.8	221,426	52.4
資産合計	428,997	100.0	429,569	100.0	△ 572	△ 0.1	422,264	100.0

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第1四半期末		(参考)前期末 (平成19年3月期末)		増 減		前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第1四半期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び買掛金	12,720		12,189		531		12,552	
引 当 金								
賞 与 引 当 金	8,467		5,958		2,509		10,989	
その他の引当金	956		1,088		△ 132		984	
そ の 他	20,878		28,299		△ 7,421		24,649	
流 動 負 債 合 計	43,023	10.0	47,535	11.1	△ 4,512	△ 9.5	49,175	11.7
II 固定負債								
引 当 金								
退職給付引当金	8,376		8,352		24		8,501	
その他の引当金	168		185		△ 17		185	
そ の 他	28,824		27,742		1,082		28,529	
固 定 負 債 合 計	37,369	8.7	36,281	8.4	1,088	3.0	37,216	8.8
負 債 合 計	80,392	18.7	83,817	19.5	△ 3,425	△ 4.1	86,392	20.5
(純資産の部)								
I 株主資本								
資 本 金	21,279	5.0	21,279	5.0	0	0.0	21,279	5.0
資 本 剰 余 金	20,227	4.7	20,227	4.7	0	0.0	20,227	4.8
利 益 剰 余 金	281,522	65.6	278,871	64.9	2,651	1.0	266,050	63.0
自 己 株 式	△ 9,130	△ 2.1	△ 9,088	△ 2.1	△ 42	0.5	△ 8,834	△ 2.1
株 主 資 本 合 計	313,899	73.2	311,289	72.5	2,610	0.8	298,723	70.7
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	34,605	8.1	34,262	7.9	343	1.0	37,018	8.7
為替換算調整勘定	△ 175	△ 0.1	△ 83	△ 0.0	△ 92	109.4	△ 117	△ 0.0
評価・換算差額等合計	34,429	8.0	34,178	7.9	251	0.7	36,900	8.7
III 少数株主持分								
	275	0.1	283	0.1	△ 8	△ 2.9	247	0.1
純 資 産 合 計	348,604	81.3	345,752	80.5	2,852	0.8	335,872	79.5
負 債 、 純 資 産 合 計	428,997	100.0	429,569	100.0	△ 572	△ 0.1	422,264	100.0

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,800	5,145	31,723
減価償却費	2,271	2,017	8,797
売上債権の増減額(増加：△)	506	2,660	2,330
たな卸資産の増減額(増加：△)	△ 596	△ 2,206	△ 5,198
仕入債務の増減額(減少：△)	532	2,330	1,956
その他	△ 5,145	△ 599	△ 13,981
小 計	6,369	9,348	25,629
利息及び配当金の受取額	971	548	1,971
利息の支払額	△ 14	△ 17	△ 62
法人税等の支払額	△ 6,990	△ 11,770	△ 13,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	336	△ 1,890	14,115
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△ 634	△ 1,411	△ 6,029
有価証券・投資有価証券の売却等による収入	731	—	5,010
有形固定資産の取得による支出	△ 1,897	△ 2,190	△ 11,410
有形固定資産の売却による収入	15	9	28
その他	△ 198	△ 169	3,983
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,983	△ 3,761	△ 8,418
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△ 2,725	△ 3,407	△ 6,122
その他	△ 235	△ 272	△ 1,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,960	△ 3,680	△ 7,180
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	104	△ 46	△ 113
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 4,502	△ 9,378	△ 1,596
VI 現金及び現金同等物の期首残高	74,546	76,142	76,142
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	70,043	66,763	74,546

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期（平成20年3月期第1四半期）

（単位：百万円）

	医薬品及び その関連する 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	49,680	534	50,215	—	50,215
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	842	842	(842)	—
計	49,680	1,377	51,058	(842)	50,215
営業費用	41,993	1,069	43,062	(842)	42,219
営業利益	7,687	307	7,995	—	7,995

前年同四半期（平成19年3月期第1四半期）

（単位：百万円）

	医薬品及び その関連する 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	45,600	593	46,193	—	46,193
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,573	1,573	(1,573)	—
計	45,600	2,166	47,766	(1,573)	46,193
営業費用	40,897	1,657	42,554	(1,573)	40,981
営業利益	4,703	509	5,212	(0)	5,212

（参考）前期（平成19年3月期）

（単位：百万円）

	医薬品及び その関連する 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	191,914	7,844	199,759	—	199,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,883	4,883	(4,883)	—
計	191,914	12,728	204,642	(4,883)	199,759
営業費用	164,757	11,022	175,779	(4,883)	170,895
営業利益	27,157	1,706	28,863	0	28,863

平成20年3月期 第1四半期業績 補足資料

平成19年7月30日
塩野義製薬株式会社

① セグメント別売上高

(単位億円)

	19年上期 予定	19年度 予定	19年4-6月 実績	18年4-6月 実績	増減額	対上期 進捗率
医薬品及びその関連する事業	1,007 (10.8)	2,096 (9.2)	496 (8.9)	456 (1.0)	40	49.3
医療用医薬品	758 (3.4)	1,583 (4.2)	378 (△ 0.1)	379 (△ 3.5)	△ 1	49.9
フロモックス	135	305	65	71	△ 6	48.1
フルマリン	62	122	30	34	△ 4	48.5
塩酸バンコマイシン	55	102	30	37	△ 7	54.9
イムネース	57	99	32	30	2	55.4
リンデロン等外用	52	100	27	27	0	51.1
クラリチン	34	88	16	14	2	48.4
オキシコンチン	29	62	16	13	3	55.3
クレストール	42	106	19	1	18	45.1
アベロックス	13	33	4	7	△ 3	28.2
フィニバックス	15	32	5	5	0	35.2
輸出・海外事業	30 (9.4)	63 (19.3)	15 (28.3)	12 (△ 9.9)	3	51.3
製造受託	25 (48.1)	50 (24.9)	9 (26.8)	8 (184.2)	1	39.6
一般用医薬品	31 (0.2)	64 (4.4)	14 (△ 4.0)	15 (△ 5.2)	△ 1	47.4
セデス類	13	27	6	6	0	47.4
ポポンS類	6	12	3	3	0	42.5
診断薬	18 (6.2)	36 (8.7)	9 (3.8)	9 (△ 5.7)	0	51.4
工業所有権等使用料収入	145 (74.4)	300 (41.1)	69 (107.8)	33 (88.4)	36	47.6
クレストール	135	280	67	31	36	49.5
その他の事業	43 (236.2)	54 (△ 31.2)	5 (△ 9.9)	6 (3.7)	△ 1	12.4
合計	1,050 (13.9)	2,150 (7.6)	502 (8.7)	461 (△ 4.7)	41	47.8

()内 対前年UP%

製品別売上高は単体実績

② 開発品 (2007年7月現在)

<国内開発品>

開発No. (一般名)	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
SCH29851 (ロラタジン, Loratadine)	ヒスタミンH1受容体拮抗薬(経口)	小児のアレルギー性鼻炎及び皮膚疾患に伴うそう痒への適応拡大・剤形追加	申請中 (2004年9月: シェリング・プラウKK)	シェリング・プラウ社 (アメリカ)	共同開発:シェリング・プラウKK
SR47436 (イルベサルタン, Irbesartan)	アンジオテンシンII受容体拮抗薬(経口)	高血圧症	申請中 (2006年12月)	サノフィ・アベンティス社 (フランス)	共同開発:大日本住友製薬
S-7701 (ピルフェニドン, Pirfenidone)	抗線維化剤 (経口)	特発性肺線維症	申請中 (2007年3月)	マルナック社(アメリカ) およびKDL社(日本)	自社
LY248686 (塩酸デュロキシセチン, Duloxetine hydrochloride)	SNRI(セロトニン・ノルエピネフリン再取り込み阻害薬) (経口)	うつ	フェーズⅢ	イーライリリー社 (アメリカ)	自社
LY248686 (塩酸デュロキシセチン, Duloxetine hydrochloride)	SNRI(セロトニン・ノルエピネフリン再取り込み阻害薬)(経口)	糖尿病性神経因性疼痛	フェーズⅢ準備中	イーライリリー社 (アメリカ)	共同開発:日本イーライリリー社
S-4661 (ドリベネム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質(注射)	各種細菌感染症(小児)	フェーズⅢ準備中	自社	自社
S-013420	新規マクロライド系抗生物質(経口)	細菌感染症	フェーズⅡb	エナンタ社(アメリカ)	自社
NS75B (パモ酸セトロレリクス, Cetrorelix pamoate)	GnRH(下垂体性性腺刺激ホルモン放出ホルモン)アンタゴニスト(注射)	前立腺肥大症	フェーズⅡb	ゼンタリス社(ドイツ)	自社
NS75A (酢酸セトロレリクス, Cetrorelix acetate)	GnRH(下垂体性性腺刺激ホルモン放出ホルモン)アンタゴニスト(注射)	子宮筋腫	フェーズⅡ	ゼンタリス社(ドイツ)	共同開発:日本化薬
S-777469	抗そう痒・抗炎症薬(経口)	アトピー性皮膚炎	フェーズⅠ	自社	自社
S-021812 (ペラミビル, Peramivir)	抗インフルエンザ薬	インフルエンザ感染症	フェーズⅠ	バイオクリスト社(アメリカ)	自社
S-888711	低分子TPOミメティクス(経口)	血小板減少症	フェーズⅠ準備中	自社	自社

<海外開発品>

開発No. (一般名)	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-2367	ニューロペプチド Y Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国:フェーズ II b	自社	自社
S-0139	エンドセリンA受容体拮抗 薬 (注射)	脳血管障害	日本:フェーズ II a 欧州:フェーズ I	自社	自社
S-777469	抗そう痒抗炎症薬 (経口)	アトピー性皮膚炎	米国:フェーズ I	自社	自社

<導出品>

開発No. (一般名)	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-4661 (ドリペネム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質 (注射)	細菌感染症	米国:申請中(2006 年12月) 欧州:申請中(2007 年6月)	自社	ベニンシュラ社 (現ジョンソン&ジョンソ ン社(アメリカ))

<導入品>

一般名	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
アダパレンゲル, Adapalene gel	レチノイン酸受容体作動 薬 (外用)	尋常性ざ瘡	申請中 (2006年6月)	ガルデルマ社 (フランス)	ガルデルマKK

2007年4月からの変更点

ステージの変更	S-4661<導出品>欧州:申請準備中→申請中(2007年6月) ペラミビル<国内開発品>:フェーズ I 準備中→フェーズ I 並びにこれに伴う開発番号の付与(S-021812)
開発品の追加	S-4661小児<国内開発品>:フェーズ III準備中 S-888711<国内開発品>:フェーズ I 準備中 S-777469<海外開発品>:フェーズ I
開発品の削除	S-8116<国内開発品>:2007年2月 発売を開始したため S-364735<シオノギー-GSK> POC試験の中間解析において、期待通りのウィルス量低下を示したが、非臨床安全性試験の結果により開発を中止したため。ただし、塩野義製薬とGSKは第2世代インテグラーゼ阻害薬の臨床開発に向けて共同研究を継続